

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2023年 2月 1日

事業所名:くれよんLINO

区分		現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に応じたスペースは確保できている。	はい :21 いいえ: 0	どちらともいえない:1 わからない :0	活動の内容や人数により部屋の使い方を工夫している。
	2	職員の適切な配置	10名に対し3名以上の配置をしている。活動や行事内容に合わせてそれ以上の職員を配置するよう努力している。	はい :21 いいえ: 0	どちらともいえない:0 わからない :1	これからも適切な配置をしていく。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所内は段差はない。子どもにわかりやすい様、視覚的配慮をしている。	はい :20 いいえ: 0	どちらともいえない :1 わからない :1	子どもの特性に応じた情報伝達への取り組みを工夫していく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	換気・手洗い・うがい・アルコール消毒を徹底している。毎日活動後に掃除と除菌を行っている。	はい :22 いいえ: 0	どちらともいえない:0 わからない :0	今後も継続していく。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	普段から職員間のコミュニケーションを大切にし意見を出しやすい関係を心がけている。	/		年間目標、月間目標を定めそれぞれの目標達成のため日々の目標達成に取り組む。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者委員会の設置には至っていないが連携している機関からの評価を基に業務改善を行っている。	/		県の監査、研修等を受けた内容を参考にし積極的に業務改善を行う。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	リモートによる外部研修に参加したり、事業所内研修をして職員全員のスキルアップに努めている。	/		今後もこれらの研修の機会を増やせるような体制を整えていく。また研修報告や意見交換も積極的に行っていく。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	最低6ヶ月に一度はモニタリングを行い、目標の達成度や課題を分析し、保護者の方との面談等で共有して作成している。	はい :20 いいえ: 0	どちらともいえない:2 わからない :0	子どもと保護者のニーズや課題を分析し計画の作成をする。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの特性と現在の様子を把握しながら、毎日個別活動と集団活動を組み合わせて活動をしている。	/		子どもの状況を見ながら無理のない計画を作成していく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	利用者それぞれの悩みに合わせて課題・目標・支援内容について具体的に記載している。	はい :20 いいえ: 0	どちらともいえない :2 わからない :0	具体的な内容の記載をし保護者の方にわかりやすく説明していく。

区分		現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員で共有し個別支援計画に沿った支援をしている。	はい :20 どちらともいえない:2 いいえ: 0 わからない :0	目標が達成出来るように振り返り改善していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	常勤職員のプログラムを全体で話し合い職員全員で共有している。		新しい活動内容など取り入れるように職員全員で内容を検討し実施していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	月間スケジュールを立て月ごとに内容を決めている。また長期休暇などはその時期にしかできないような活動を組み込んでいる。		これからもその時々に応じた支援が出来るように話し合い様々な社会資源などを活用しながら支援していきたい。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節ごとのイベントや外部からの情報を取り入れて工夫に務めている。	はい :18 どちらともいえない:2 いいえ : 0 わからない :2	子ども達が楽しみながら意欲を持って取り組めるように工夫していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援前に日誌などで情報の共有をし、開始前に集まり活動計画案(デイリープログラム等)の内容を確認している。		今後も継続していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	個人ノートの作成と確認をしミーティングを行い情報の共有化をしている。		引き続き職員の情報の共有に務めていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日の支援経過の記録と職員間での話し合いをし情報共有をしている。		わかりやすく細やかな記録が出来るようにする。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングを実地し、6ヶ月に一度の評価、個別支援計画の見直し、作成をしている。		今後も必要に応じて見直しを行っていく。

区分	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参加	要望があれば当事者が参加している。		必要に応じ連携を取りながら参加する。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児なし。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児なし。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援事業所とも連絡を取り情報共有している。情報提供を求められたことはないが必要に応じて行う。		今後も取り組んでいきたい。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	情報提供を求められたことはないが必要に応じて行う。		個人情報の取り扱いに留意しながら必要に応じて行う。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修があれば順番に必ず行ってもらうようにしている。		今後も継続していく。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	以前は近所の公園に出かけ地域の児童と交流出来る機会も作っていたが、今年度もコロナウイルス感染拡大防止のため交流はほとんど行っていない。	はい :6 いいえ :2 未回答 :1 どちらともいえない :1 わからない :12	来年度も状況を見て判断していきたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため交流はしていない。		来年度も状況を見て判断していきたい。

区分	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に必ず説明している。	はい :20 どちらともいえない:2 いいえ: 0 わからない :0	わかりやすく丁寧に説明出来るようにする。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談や送迎時などに説明している。	はい :20 どちらともいえない:2 いいえ: 0 わからない :0	できるだけ直接お会いして説明出来るようにしていきたい。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者からの相談に対しては家庭支援として個別に対応しているが保護者への積極的なトレーニングの実施には至っていない。	はい :10 どちらともいえない: 2 いいえ: 3 わからない :7	今後も困りごとや悩みを共有し、解決していける様な相談支援体制を作っていけるよう努める。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や面談時に話をしたり連絡ノートを用いて当日の様子などを伝え情報共有をしている。	はい :21 どちらともいえない:1 いいえ : 0 わからない :0	共通理解が徹底出来るように努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や来所時に行っている。また電話対応も行っている。	はい :20 どちらともいえない:1 いいえ : 0 わからない :1	話しやすい雰囲気作りと適切な対応が出来るように努める。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	名称は異なるが今年度は感染予防対策をしっかり行い茶話会を開催し6名の参加があった。	はい : 5 どちらともいえない :6 いいえ: 5 わからない :6	今後も継続していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	職員間で話し合い迅速かつ適切な対応に務めている。	はい :15 どちらともいえない:1 いいえ: 0 わからない :6	今後も継続していく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもには絵カードなどを使い保護者の方には「くれよんつうしん」でお知らせしたり、送迎時に話をしている。電話での対応も行っている。	はい :20 どちらともいえない:1 いいえ: 0 わからない :1	SNSなども使いもっと細やかな情報発信をしていけるように進めていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月発行の「くれよんLINOつうしん」で活動概要や行事予定などを発信している。	はい :20 どちらともいえない:0 いいえ: 0 わからない :2	これからも「くれよんLINOつうしん」の発行や必要に応じてお知らせを発行し保護者の方にわかりやすく情報提供していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の書類は鍵付きの書庫に保管している。また廃棄する書類等はシュレッダーにかけている。	はい :20 どちらともいえない:0 いいえ: 0 わからない :2	写真や個人情報などの取り扱いについて全職員に徹底していく。

区分		現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し緊急時のマニュアルは保護者の方に渡している。	はい :17 どちらともいえない:3 いいえ: 0 わからない :2	全職員と保護者に周知徹底していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回実施しています (3月 地震 10月 火事)	はい :19 どちらともいえない:1 いいえ: 0 わからない :2	地震・火事・不審者対応等さまざまな場合を想定して実施していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部研修の参加とその後の研修報告で、全体での共有をしている。		今後も継続していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当児なし。		今後対象となる児童が利用する場合には説明記載をする。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りで対応している。また表を作り職員内で共有できるようにしている。		今後も継続していく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例集を作成している。毎月のミーティングや話し合いの場で検討し、職員が共有出来る様にして再発防止に務めている。		今後も継続していく。